

2月29日、本庁舎での業務開始  
 これまでの良さをそのままに  
 新しい良さを加えて生まれ変わった  
 鬼北町役場  
 これから先もずっと  
 愛される庁舎で…



PICK UP

## 鬼北町役場本庁舎が生まれ変わりました

### 再生された庁舎

鬼北町庁舎(旧・広見町庁舎)は、1958年(昭和33年)に竣工された建物で、当時、三島地区出身の中川軌太郎氏が、株式会社レモンド建築設計事務所の代表取締役だったことから、同事務所が設計を担当したと言われています。

そして、2012年(平成24年)2月23日、造形の規範となっているものとして国の登録有形文化財に登録されました。



### 文化財的価値を残して

レモンド建築設計事務所  
 の設計により完成した本  
 庁舎には、当時の最先端技

術が用いられているなど、多くの文化財的価値が点在しています。今回の改修工事では、新しい技術などを取り入れつつ、同時にそのような文化財的価値の保存にも取り組まれました。

中でも特に特徴的なのが、本庁舎3階にある議場です。屋根には「シドニーオペラハウス」で有名な、HP(双曲放物面)シェル構造が採用され、四方にはステンドグラスを模した、公共建築物には珍しい特徴的なデザインが施されています。

今回、このステンドグラスは変色の激しかった西面のみ新調しましたが、その他についてはオリジナルのまま保存しており、光が差し込むと幻想的な雰囲気広がります。

もう一つ特徴的なのが、本庁舎の直線美を象徴するスチールサッシュです。今回、断熱性、気密性を高め



3



5



4

るため新設となりましたが、そのデザイン性は当時のままを引き継ぎ、本庁舎の外観に引き締まった印象を与えています。

その他にも人造石研ぎ出し床、1本の天然木を直角に曲げて作られた階段の手すり、杉板の型枠の跡が残



2